

## 平成17年度 事業報告

我が国の景気は、昨年の半ばから緩やかながら回復基調となり、設備投資や好調な輸出、大企業の業績回復にも牽引され、経済全体に明るい兆しが見え始めたところであります。

中部圏では「愛・地球博」の開催、中部国際空港の開港という2大プロジェクトがあり、国内外から注目される年でありました。

こうした経済状況を背景に当地の宿泊客数は約108万人となり、前年度と比べ約5%の増加となりました。これは、JR東海下呂駅開業75周年を記念した企画商品を造成していただいたことも要因と考えております。

当協会では、「宿泊客130万人 日帰り客70万人 誘致に向け団結してがんばろう」をメインスローガンに掲げ一般消費者を対象に旅フェア2005(幕張)への出展、東京駅でのPRイベント、新宿-下呂温泉高速バスの乗車促進の為に京王八王子駅、府中駅での街頭キャンペーンや、名古屋市内において、旅館組合が運行を開始した名古屋-下呂温泉直通バスのPR活動などを実施致しました。旅行業者並びにマスコミや旅行作家等を対象に観光客誘致会議を東京、大阪、名古屋で開催。旅行業者への訪問セールスは名古屋等をはじめ17年度はディステーションキャンペーンに先駆けて、福岡でも実施致しました。また、愛・地球博の開催に伴い、海外からの視察受け入れや商談会も実施するなど、ビジットジャパンキャンペーンを受けて、インバウンド事業も積極的に展開を致しました。

魅力ある温泉地を目指して、花木の植栽や草取り、飛騨川クリーン大作戦などの環境整備事業や、いでゆ夜市、さわやかウォーキングへの協力、車上セミナーでの研修事業などを継続的に実施してまいりました。

様々な事業を実施するなか、特に観光振興に向けた息吹も期待できる一年となりました。

最後になりましたが、このような事業を無事に遂行できましたのも、協会員の皆様をはじめ、行政、関係団体などのご協力の賜と感謝申し上げます。事業報告といたします。